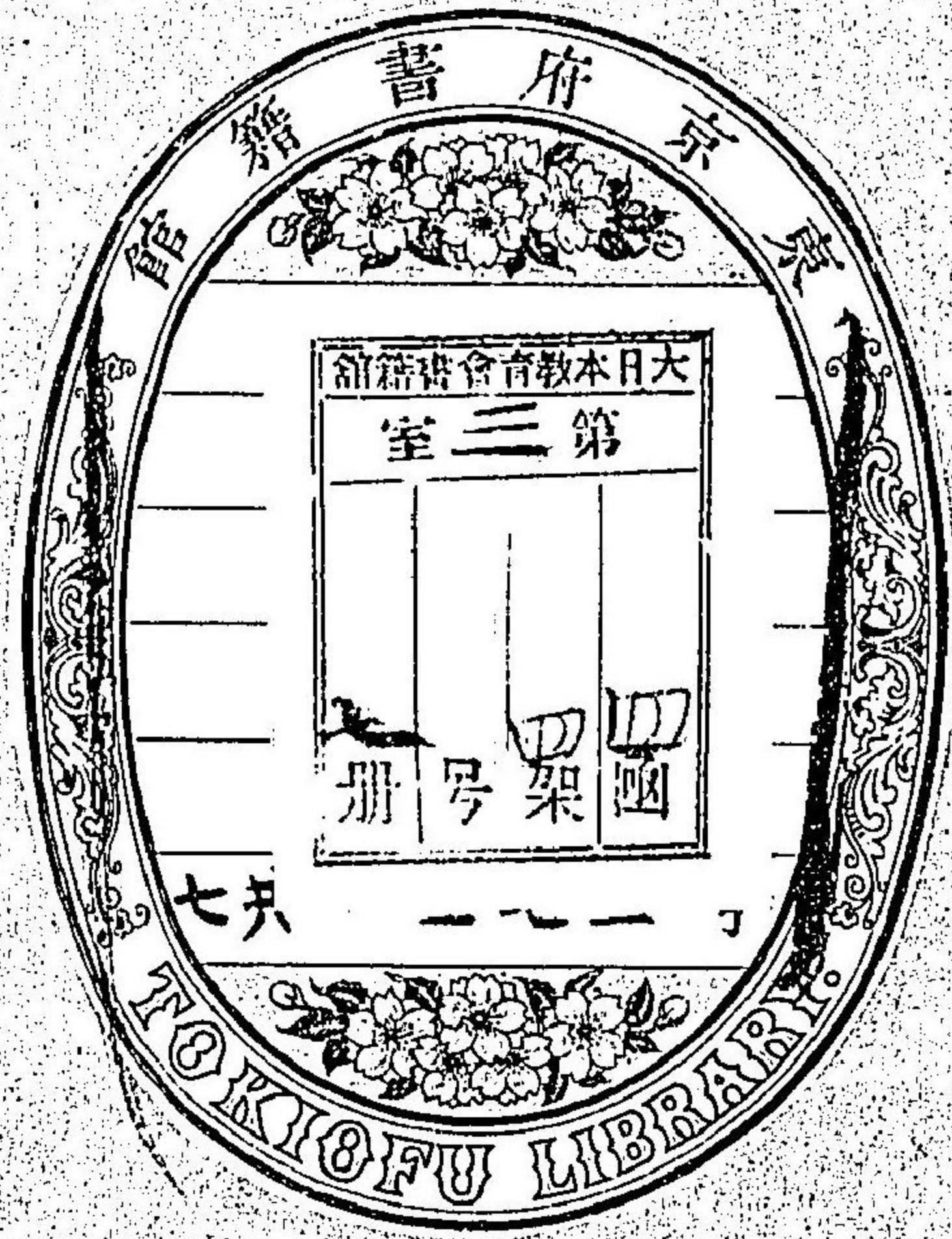


官板
數學書

四



特37
134
六六
古本

數學之部四

小學教授書

東京府

數學書卷之四

合率比例

第一

元金一百圓ニ舟一箇年ノ利金拾貳圓ヲ得ル割合ヲ以テ七百五十圓ヲ貸シ一百拾貳圓五拾錢ノ利金ヲ得タリ幾何ノ月數ヲ費セシヤ

第二

元金八百圓ヲ年一割五分ノ利ニテ八箇年貸シ若干ノ利金ヲ得タリ今貳千四百圓ヲ以テ二年半ノ間ニ同シ利ヲ得ントス年利幾何ナルヤ

第三

一箇年五分半ノ利ニテ四十四個月ノ間タニ利金八百四十七圓ヲ得ントス元金幾何ナルヤ

數學之部四

小學教授書

東京府

東京府立

第一

數學書卷之四

合率比例

元金一百圓ニ月一箇年ノ利金拾貳圓ヲ得ル割
合ヲ以テ七百五十圓ヲ貸シ一百拾貳圓五拾錢
ノ利金ヲ得タリ幾何ノ月數ヲ費セシヤ

第二

元金八百圓ヲ年一割五分ノ利ニテ八箇年貸シ
若干ノ利金ヲ得タリ今貳千四百圓ヲ以テ二年
半ノ間ニ同シ利ヲ得ントス年利幾何ナルヤ

第三

一箇年五分半ノ利ニテ四十四個月ノ間タニ利
金八百四十七圓ヲ得ントス元金幾何ナルヤ

大正十一年

〇一

八

第四 備夫九人一百〇五日ノ備貸七貫三百八十二匁
八分一厘二毛五絲ナリ一人ノ貸銀一日幾何ナ
ルヤ

第五 元金六百圓ヲ年利一割二分ニテ十三箇月貸シ
利金若干ヲ得タリ今一割五分ノ利ニテ十六箇
月貸シ同利ヲ得ントス元金幾何ナルヤ

第六 元金一百六十圓ヲ年利一割二分ニテ五箇年貸
シ利金若干ヲ得タリ今元金一百貳拾圓ヲ年利
一割ニテ同數ノ利ヲ得シニハ幾年貸置ベキヤ

第七 元銀一百目ニ年利四匁五分ノ割合ヲ以テ五
年三箇月貸シ一貫七百九十五匁五分ノ利銀ヲ
得タリ此元銀幾何ナルヤ

第八 米三千五百石ヲ六年九箇月貸シ利米七百零八
石七斗五升ヲ得ル割合ヲ以テ二年四箇月ノ間
二千百石ヲ貸シナバ幾何ノ利米ヲ得シヤ

第九 年利五分ニテ五年三個月元金千六百圓ヲ貸シ
利金若干ヲ得タリ今元金千貳百圓ヲ年利四分
ニテ貸シ同シ利金ヲ得ントス年月幾何ナルヤ

第十 匠夫二十七人毎日十字ツ働キテ十六日ノ貸銀
三百〇二匁四分ヲ渡ス割合ヲ以テ三十五人ヲ十

第二日ノ間十一字ヅ働セバ幾何ノ價ナルヤ

第三十一 三十三人ノ匠夫三十六日ノ間十二字ヅ工作シ

賃銀六貫八十八匁五分ナリ今二十四人工作ス

ル毎七日七字ヅトセバ幾日ニシテ壹貫四百三

第十二 拾五匁ノ賃銀ヲ渡スベキヤ

第八人ノ大工毎日十字半ヅ工作シ二十七日ニテ

成就スベキ仕事ヲ今十五人ニテ十四日ノ中ニ

第十三 果サントス毎日幾字ヅ工作スベキヤ

甲乙ノ匠夫アリ甲三人ハ乙四人ノ業ニ當ル今

乙二十四人二十四日ノ間毎日九字十五分工作

シテ成ルベキ事アリ甲之ヲ營ム毎十三日
ヅニテ十八日ノ中ニ果サントス人員幾何ナル
ヤ

第十四 今兵士一千八百人ヲ九箇月ト十日養フ糧米ア

リ但シ一人ニ舟一日一升三合七勺五才ヲ宛行

フ積リナリ然ルニ五箇月七日半ニシテ百五十

人出兵セリ今残りノ者エ一人ニ舟幾何ヲ増セ

第十五 右ノ糧米ヲ四箇月ニ食盡スベキヤ

今八箇月半ノ間兵士一千八百人ヲ養フ糧米ヲ

貯フ但シ一人ニ舟一日一升八合ヲ宛行フ積リ

ナリ右ノ如ク五箇月ト十日宛行フ内ニ更ニ三百六十人ヲ増セリ一人一日ノ宛行ヒ幾何ヲ減セバ殘米ヲ以テ尚三箇月ト十日ノ食料ニ足ルベキヤ

第十六

一 今二箇月十日ノ間一千貳百人ヲ養フベキ米ヲ貯フ但シ一人ニ付一日一升五合ヅナリ今其割ヲ減シテ一人毎ニ一升二合五勺宛トナサバ一千四百人ヲ幾月養フベキヤ

第十七

一 縦一丈六尺横七尺五寸ノ板ニ鉛ヲ着ルニ四十五斤ノ量目ヲ要ス今同シ厚サノ鉛ヲ以テ縦ニ

第十八

一 丈横一丈四尺ノ板ニ着ル時ハ幾斤ナルヤ
一 長五十間高十三間ノ板塀ヲ塗ルニ塗料六斤半ナリ此割合ヲ以テ長サ五十六間高八間ノ所ヲ塗ラバ塗料幾斤ナルヤ

第十九

一 縦一丈一尺横八尺高一丈五尺ノ水槽アリ今之ニ準シテ別ニ縦一丈二尺横一丈ノ者ヲ造リシニ其積等シト云トキハ高サ幾何ナルヤ

第二十

一 長八尺五寸横五尺六寸高五尺ノ槽アリ同シ積ヲ以テ長七尺横四尺ノ者ヲ造ルニハ高何程ニテ宜キヤ

第廿一

一 二十八人ノ人夫若干ノ時間ニ縦三丈五尺横一丈六尺深二尺ノ渠ヲ開ク今同時時間ニ縦四丈六尺横一丈五尺深三尺ノ渠ヲ開ク時ハ人負幾何ナルヤ

第廿二

一 玄米白米合セテ三拾七石アリ玄米ヲ舂テ元ノ白米ト合スレバ三拾壹石ナリ但シ玄米一石ハ舂テ白米七斗五升トナル元ノ玄米ト白米幾何ナルヤ

第廿三

一 大小俵數合セテ五百五十俵石數共ニ貳百〇五石ナリ但シ大ハ三斗八升入小ハ三斗七升入ナリ

第廿四

大小俵數幾何ナルヤ
一 大豆小豆合セテ五百貳拾八俵代銀合セテ拾五貫三百目ナリ但シ大豆一俵代銀廿五匁小豆一俵代銀三拾貳匁ナリ各俵數何程ナルヤ

第廿五

一 大俵四斗三升中俵三斗八升小俵三斗一升入合セテ俵數五百五十俵石數合セテ二百〇五石但シ大ト小トハ俵數等シト云各俵數幾何ナルヤ

第廿六

一 米三百俵アリ大ハ五斗三升入中ハ五斗入小ハ四斗六升入石數合セテ一百四十八石二斗ナリ但シ大ノ俵ハ小ノ俵ヨリ少キト拾俵ト云各

一 第七 俵數幾何ナルヤ

米二千〇〇五俵アリ此石數七百六十五石五斗ナリ但シ大俵ハ四斗二升入中俵ハ三斗八升入小俵ハ三斗五升入ナリ但シ大ノ俵數ハ中ノ俵數ノ一倍ナリト云俵數各何程ナルヤ

一 第八 米二百拾俵アリ此石數八十石四斗ナリ但シ小俵ハ三斗五升入中俵ハ三斗九升入大俵ハ四斗六升入ニシテ大ノ俵數ハ中ノ俵數ノ三分一ナリト云俵數各幾何ナルヤ

一 第九 米五百廿一石此俵數千二百四十二俵但シ大俵

五斗三升入中俵四斗七升入小俵四斗入ニシテ大中各俵數等シ俵數各幾何ナルヤ

一 第十 上下二組ニテ溝ヲ開ケ上組ハ一日ニ三十六坪下組ハ一日ニ二十八坪ニシテ今下組九十日先達ツト云上組幾日ニシテ同坪數トナルヤ

一 第十一 金ヲ配分セントスルニ其員數ヲ知ラズ一人ニ丹拾圓ヅ分レバ不足ナシ又一人ニ五圓ヅ分レバ五拾圓餘ルト云人數及ビ金高何程ナルヤ

一 第十二 金アリ七人ヅ組合テ一組ニ三十七圓ヅ分レバ一百六十五圓餘ル又一人ニ拾圓ヅ分レバ不足

ナシト云人數幾何ナルヤ

第三十三

一 今員數ヲ知ラザル銀アリ一人ニ五匁ヅ分レバ
餘ル一四十目又一人ニ拾匁ヅ分レバ不足スル
一六十目ナリ人數銀高幾何ナルヤ

第三十四

一 今布アリテ配分スルニ其數ヲ知ラズ但シ七人
ヅ組合テ一組エ一百十反ヲ分レバ廿五反不足
ス又一人ニテ拾五反ヅ分レバ不足ナシト云反
數何程ナルヤ

第三十五

一 縮緬一反ノ代銀八十五匁絹一反ノ代銀八十匁
紬一反ノ代銀七十一匁ニテ百反ヅアリ此代銀

合セテ七貫八百十六匁ナリ但シ結紬ノ三反數

等シト云各反數幾何ナルヤ

第三十六

一 紗綾一丈二尺結一丈八尺布二丈六尺代銀合セ
テ三十八匁ナリ但シ紗綾一尺ノ代銀ハ結一尺
ノ代銀ヨリ銀五分高シ結一尺ノ代銀ハ布一尺
ノ代銀ヨリ銀六分高シト云一尺ノ代銀各幾何
ナルヤ

第三十七

一 糸二百十四斤アリ之ヲ甲乙二組合セテ人數一
百五十七人ニ分ルニ甲ハ三人ニ五斤乙ハ七人
ニ八斤ヲ渡ス甲乙各人員幾何ナルヤ

第三十

上ハ二割下ハ二割半ノ利ヲ加エテ元銀同數ニ返ス今上下ノ元利銀合セテ一貫七百十五匁ヲ返ス上下各元銀幾何ナルヤ

第三十九

幅八寸厚六分ノ松板七拾五枚ノ代銀二百四十四目ナリト云今幅一尺厚八分ノ松板四十八枚ノ代銀幾何ナルヤ

第四十

徑シ四尺深サ六丈ノ井戸ヲ穿ツニ人夫若干ヲ以テ日數五日ニシテ成就ス今徑シ四尺五寸深サ五丈八尺ノ井戸ヲ同シ人數ニテ穿ツ時ハ其日數幾日ニシテ成就スルヤ

第四十一

口ノ徑シ二尺八寸底ノ徑シ二尺七寸深サ三尺ノ桶アリテ重サ一百貫目ノ物ヲ容ルト云今口ノ徑シ三尺底ノ徑シ二尺五寸深サ二尺九寸ノ

第四十二

桶ニハ幾何ノ物ヲ容ルヤ但シ尺度ハ各内短ヲ云ハ
上八尺下一丈三尺高サ一間半長サ一百五十間ノ土手ヲ築クニ人夫若干ヲ以テ日數二十七日ニシテ成就ス今上九尺下二間高サ七尺長サ一百六十間ノ土手ヲ同シ若干ノ人夫ニテ築ク時ハ幾日ニシテ成就センヤ

第四十三

一 八寸廻リノ丸太五拾本六寸廻リノ丸太八拾本

代銀合セテ四百二十八匁ナリ但シ八寸廻リノ方ハ六寸廻リヨリ一本ニ舟五分ヅ高直ナリト云時貳品壹本ノ代銀幾何ナルヤ

第四品

一 長二間半ノ六寸角一通リ木挽賃銀一匁三分五厘ナリト云時長貳間ノ八寸角一通リ木挽賃銀幾何ナルヤ

第五品

一 幅五間底幅四間深サ二間長サ二百五拾間ノ溝ヲ作ル時平均貳坪ニ舟三人掛リノ積リナリ人足高何程ナルヤ

第六品

一 長サ十五町三十六間ノ所エ柵ヲ作ルニ杭木ハ

一間ニ五本打トシテ笠木ノ貫ハ長サ一丈三尺二寸ナリト云杭木並ニ笠木ノ貫ノ數幾何ナルヤ

第七品

一 八寸廻リノ丸太五拾本六寸廻リノ丸太八十本代銀合セテ貳百六拾壹匁四分四厘ナリニ品壹本ノ代銀幾何ナルヤ

第八品

一 長三間ノ蛇籠四千二百本ヲ以テ堤ヲ作ル時下ノ並ヒ拾壹本上ノ留リ五本ナリト云町場ノ長サ何程ナルヤ

第九品

一 幅五間底幅四間深サ二間半長サ二百間ノ溝ヲ

埋メントス但シ一間立方一坪ニ升土俵六十二

俵半ノ積リニシテ右ノ埋ムル俵數幾何ナルヤ

第五十

一 白羽二重四拾九反ヲ紅色ニ染ルニ染代ハ右羽

二重ノ内ニテ拂フ但シ六反染メテ一反ヲ拂フ

積リニシテ染上リノ反數並ニ拂代ノ反數各幾

何ナルヤ

第五十一

一 長サ一丈八尺三分厚サ一尺二寸幅一尺四寸八

分五厘ノ木一本アリ之ヲ長サ一間厚サ六分ノ

板ニ挽ク時鋸道一分五厘ナリ但シ角物ノ厚サ

ハ板幅ニ用ユト云木挽賃二間尺角一通リ銀一

匁二分ノ積リナリ板數並ニ木挽賃銀幾何ナル

ヤ

第五十二

一 機ヲ織ルニ縞糸三百六十筋ノ内紺三筋赤一筋

崩黄二筋白一筋薺金一筋淺黄二筋ノ組數ナリ

ト云時一幅ニ舟色糸幾筋ヲナルヤ

第五十三

一 米一升五合ノ飯ヲ器ニ容ルニ其徑シ八寸深サ

五寸八分ナリト云今徑シ一尺三寸深サ八寸七

分ノ器ニハ幾何ノ飯ヲ容ルヤ

第五十四

一 三百五十斤ノ物ヲ負ヒテ七十五里ノ道ヲ遣ル

飛脚賃銀三百六十目ナリ今四百五十斤ノ物ヲ

第五十五 負ヒテ四十九里ノ道ヲ遣ル貨銀幾何ナルヤ

一 荷車ハ一日ニ七里空車ハ一日ニ十四里ツ道ヲ行クトシ今東村ニテ荷物ヲ積ミ西村エ行ントセシニ中途ニテ荷物ヲオロシ空車ニテ西村ニ到ル日數十日ト一字間ナリト云道法幾何ナル

第五十六

一 一篇毎ニ三百五十字ノ書籍百篇ヲ筆工七人ニテ十日ニ寫シ了ルト云此割合ヲ以テ筆工八人ニテ十二日ノ間ニ二百篇ヲ寫サントス篇毎ノ字數幾何ナルヤ

第五十七

一 長サ三拾九間横二十五間ノ邸アリ右ノ内總廻リニ口幅二間底幅一間半深サ六尺三寸ノ溝ヲ穿チ此土ヲ以テ邸内ニ鋪カントス但シ三坪ニ舟人足四人掛リナリ間口奥行邸ノ坪數地形高並ヒ人足高幾何ナルヤ

第五十八

一 屋上ノ鉛板長サ十五フー卜半幅八フー卜ナレバ凡六十二斤ノ重サナリ今二十一フー卜ノ長サ十四フー卜ノ幅ノ鉛板ヲ作レバ其重サ幾何ナルヤフー卜ハ英ノ尺度ニシテ我曲ノ三六六ト

第五十九

一 ヤルドノ幅ト深サニテ長サ一フルロシノ渠

ヲ開クニ其人數若干ヲ用ヒテ二十日ニシテ成
 就スト云今幅ニ「ト半深サ一ヤルド半長サ
 三十九ポ「ルノ渠ヲ同シ若干ノ人數ニテ開ク
 時ハ日數幾日ニテ成就スルヤヤルハ皆英ノ
 尺度ニシテ三「ト以テ一ヤルドハ皆英ノ
 ニ十「ヤルドヲ以テ一「トヤルドハ皆英ノ
 ヲ以テ一「トヤルドハ皆英ノ

第六

人數一百〇八人ノ篆刻師一日ニ十字ヅニテ
 七「井キノ内ニヤルド立方ノ臘石九十六箇ヲ
 彫刻シ盡セリ今八十一人一日ニ十字半ヅニテ
 ハ「井キノ内ニ「ト立方ノ臘石若干箇ヲ彫

刻セシトス但シ前ノ百八人ノカト後ノ八十一
 人ノカトハ三ト四トノ如シト云右ノ臘石幾何
 箇ヲ彫刻シ得ルヤウ井キハ日數七「トヤル
 我曲人廿七坪ニ九「ト立方ノ六〇ニニ當ル一「ト
 上立方ハ「ヤルド立方ノ廿七分ノ一ニ當ル

算學書卷之四終

官板

不許翻刻

東京書林

北畠茂兵衛

山中市兵衛

稻田佐兵衛

